

計画の目的

総合計画の基本理念である『**県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし**』を実現するため、目指すべき本県の姿を明らかにし、整備すべき社会資本の全体像を示す。

計画期間 令和8年度～令和12年度
想定事業量 概ね 5,000億円



本県の現状と課題

- 人口減少危機
- 成長型経済への転換
- 生活環境の安全・安心の確保
- 激甚化・頻発化する自然災害や巨大地震
- 老朽化するインフラ
- 持続可能な都市づくり

I 活力があり、人々の活動と地域の成長が「始まる」基盤づくり

重点目標

- リニア開業効果の県全域の波及**
リニア駅周辺の基盤整備 新山梨環状道路の整備 等
- 他圏域との連携強化**
高速道路ネットワーク等の整備促進 多重性・代替性（リダンダンシー）確保のための道路網整備 等
- 県内拠点間の連携強化**
県内幹線道路ネットワークの整備 渋滞対策の推進 等
- 地域観光資源の利活用**
サイクル王国やまなしの実現 インフラの価値や魅力の情報発信 等
- 活力ある市街地環境の創造**
都市計画道路の整備推進 都市公園（街区公園）のリノベーション 等
- 安全安心な生活環境の確保**
通学路の安全対策の推進 生活道路等の人優先の歩行空間の形成 等
- 効率的な森林の施策** **農業競争力の強化**
林内路網整備の推進 農地・農業用施設の整備の推進



III まちをあるべき姿で未来へ「繋げる」基盤づくり

重点目標

- 持続可能な県土づくり**
コンパクト・プラス・ネットワークの推進 グリーンインフラの推進 等
- 将来像を踏まえたインフラ再構築**
施設の老朽化対策の徹底と良質なストック形成 地域等のニーズを考慮した中での集約・撤去・機能見直しの検討
- インフラ整備を支える基盤の強化**
PPP/PFI等の官民連携の推進 「群マネ」導入に向けた支援 等
- 賢く持続可能なインフラの管理・運用**
インフラ分野のDXの推進

II 県民の安全・安心を支え、生命・財産を「守る」基盤づくり

重点目標

- 流域治水の推進**
堤防の補強・河道拡幅 森林の整備・保全 等
- 土砂災害・山地災害からの生命・財産の保護**
砂防・治山施設の整備 土砂災害警戒区域の追加指定及び見直し 等
- 大規模地震からの生命・財産の保護**
耐震対策の推進 防災重点農業用ため池の整備 等
- 富士山噴火への備え**
3放射・3環状道路の整備推進 道路啓開計画（火山災害編）の策定 等
- 緊急時の救援活動を支える基盤づくり**
災害時応急体制の強化 デジタル技術の活用 等
- 災害時における道路ネットワークの強靱化**
緊急輸送道路・雨量規制区間等の防災対策 無電柱化の推進 等
- 災害時における電力供給の確保**
道の駅・都市公園における非常用電源の整備促進及び機能確保
- 地域防災力の強化**
市町村の防災力強化への支援 災害情報提供の充実 等

横断的施策 **社会資本整備を効率的に進めるための施策**

- 公共事業評価の実施
- 官学連携の推進
- 官民連携と地域住民の参画
- 計画的な用地取得の推進

施策により実現する未来の山梨

- 「人口減少危機突破宣言」は実を結び、安定した「**均衡社会**」へと移行
- 限られた人員でも高度な維持管理・運用を可能にする「**スマートな社会**」の構築
- 自然災害の致命的な障害がなく迅速に回復する「**しなやかで強いやまなし**」
- 激甚化・頻発化する災害に対し、「**ふるさと強靱化**」の実現で克服
- 三大都市圏との一体化、世界へと開かれた「**開の国**」として進化
- 賃金上昇へと還元される「**豊かさ共創**」の好循環が確立